

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	鳥取県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	境港市立第二中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	2	14	28
生徒数	132	121	128	4	385	

研究の概要

1. 研究主題

一人一人の学力の向上を目指して

～わかる授業の創造ときめ細やかな指導方法の工夫・改善～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・全学年・全教科（全教員で、わかる授業の創造や指導案の改善を行いながら、充実した研究を進めていくため。）
- ・1年生・数学および英語（生徒の理解の状況に差が出やすい教科であり、該当学年で習熟度別少人数指導を実施してきた経緯があるため。）

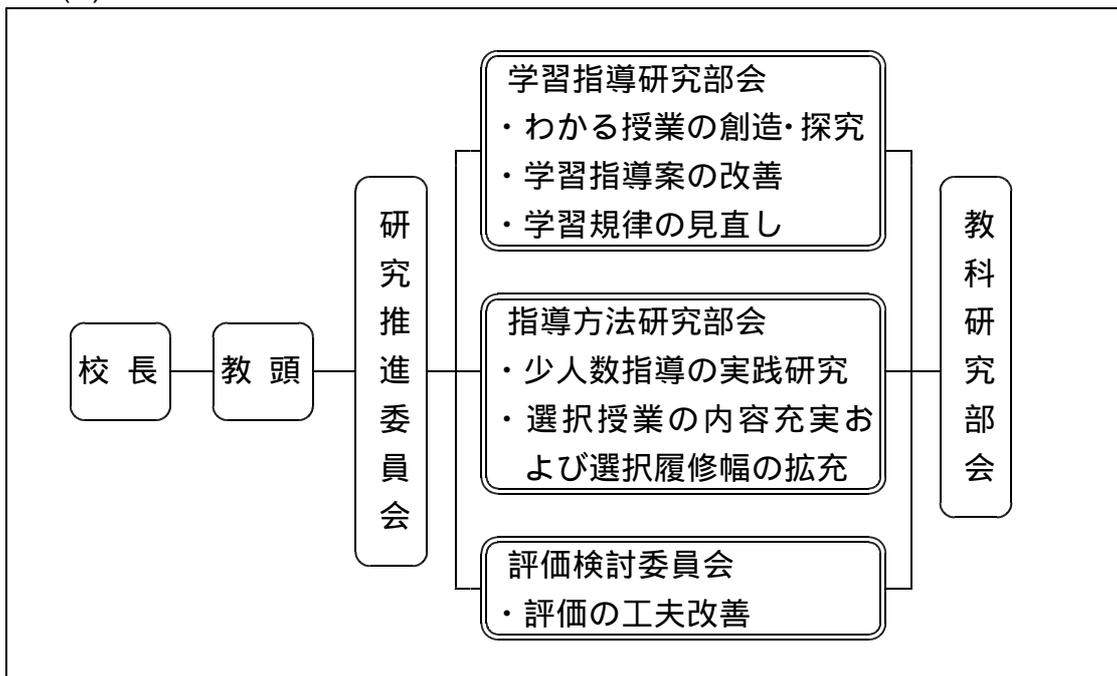
(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ：わかる授業の創造ときめ細やかな指導方法の工夫改善 研究の見通し</p> <p>生徒の「確かな学力」を育むために、まず本校における学力観を明確にし、授業改善等を重点に置きながら研究を進めていく。特に生徒の実態を把握し、一時間ごとの授業のねらいや評価を焦点化していく中で、「わかる授業」が創造していけると考えた。また少人数指導、選択授業の実践研究を進めていく中で、個に応じたきめ細やかな指導方法や指導体制を確立し、生徒の「確かな学力」の向上につなげていきたい。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかる授業の創造・探究</li> <li>・少人数指導の実践研究</li> <li>・「学習の焦点化」を視野に入れた学習指導案の改善</li> <li>・「確かな学力」に結びつく学習規律の見直し</li> <li>・選択授業の内容充実および選択履修幅の拡充</li> </ul>
--------	---

	<p>テーマ：わかる授業の創造ときめ細やかな指導方法の工夫改善 研究の見通し</p> <p>今年度の課題を改善しながら、生徒の「確かな学力」を育むため</p>
--	---

平成16年度	<p>の「わかる授業」の創造および少人数指導、選択授業など個に応じたきめ細やかな指導方法や指導体制を確立していく。また家庭との連携も深めていく。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかる授業の創造・探究</li> <li>・選択授業の実践記録</li> <li>・「学習の焦点化」を視野に入れた各教科における学習指導案の改善</li> <li>・「確かな学力」に結びつく学習規律の定着</li> <li>・保護者との連携</li> <li>・少人数指導の実践記録およびアンケート、診断テストの分析</li> </ul>
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

【学習指導研究部会】

(1) 生徒の実態把握

「確かな学力」に結びつく学習規律の成文化と習慣化の取り組み

- ・ 学習のルールやマナーの定着（チャイム着席、挨拶、授業の準備、発表の仕方、聞き方、助け合い方等）を図ることにより、授業で生徒が以前より主体的に取り組むようになってきた。

(2) 学習における基本的生活習慣の定着

「内容学力」、「方法学力」、「態度学力」を本校における学力と捉え（仮説設定）、これらを生徒にバランスよく身につけさせていくことを共通理解して研究を進めた。特に態度学力を身につけさせながら生徒と教師が一体となり、よりよい学習環境をつくることに重点を置いた。

- ・ 生徒も落ち着いて学習に取り組み、「確かな学力」の向上に向けての基盤が定着しつつある。

### (3)わかる授業の創造・探究

教師が授業をつくる時、生徒の実態を把握して授業のねらいや評価をしっかりと計画していくことが「わかる授業」につながると考えた。特に一時間ごとの学習指導案を精練していくことに重点を置き、授業研究会等で実践研究を深めた。

- ・ 教師が一時間の授業のねらいや評価を明確にして焦点化していくことにより、全教科にわたって授業の質や教師の意識が高まり、生徒にとっての「わかる授業」が展開できた。

#### 【指導方法研究部会】

#### (1)少人数指導について（第1学年 数学・英語）

- ・ 学習に対する意識調査（数学・英語共通）

#### 【結果】 よく当てはまる、概ね当てはまる

その教科が好きになった。.....	16%	41%	（57%）
選んだコースが自分にあっている。.....	38%	43%	（81%）
授業の内容がよくわかる。.....	27%	54%	（81%）
進んで手を挙げて答えている。.....	12%	24%	（36%）
分からない事など先生に聞きやすい。...	15%	31%	（46%）

【分析】 ~ : 生徒は少人数指導に概ね満足している。あるいは期待している。

- ・ : 指導方法はもちろん、指導者と生徒のコミュニケーションをさらに深めていかなければならない。

#### (2)選択授業について

授業を展開していく中で、内容・方法・コースについての課題をまとめ、来年度へ向けての計画づくりを行った。

## 2. 今後の課題

#### 【学習指導研究部会】

#### (1)学習規律の定着

学習規律の見直しを行い成文化していく中で、生徒も主体的に学習に取り組むようになってきた。今後もさらに定着を図り、習慣化させていく必要がある。

#### (2)学習指導案の改善

学習指導案の改善を授業研究会等で重ねて行ってきた。今後は各教科ごとの学習指導案の検討が望まれる。

#### 【指導方法研究部会】

(1)少人数指導について

再度「学習に対する意識調査」を実施して生徒の変容を確認する。  
その上でより具体的な改善策を考えていく。

理解度の変容を把握するための資料作り。特に年度当初に行う NRT  
などの各診断テスト結果の分析をまとめ、対策を考えていく。

(2)選択授業の開設について(内容・方法・コース数等)

音楽、美術、保体、技家については、必修教科ではできにくい発展  
的、専門的技能の習得を中心とした学習活動を展開していく。

国語、数学、社会、英語、理科については、必修教科の補充をねら  
いとした基礎的な内容を学習する講座を必ず開設する。複数の講座を  
開設する場合は、発展的な内容の講座を開設してもよい。学習内容に  
ついては、県基礎学力調査の分析結果や事前アンケート等を参考に必  
要と思われる学習を熟慮して決定する。

学力把握のための学校としての取組

教研式標準学力検査NRT(国語・数学・英語)年1回4月実施  
県基礎学力調査(年1回) 生徒アンケート(少人数指導)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

第1回授業研究会	第2回授業研究会
・日時 平成15年6月25日	・日時 平成15年10月24日
・場所 境港市立第二中学校	・場所 境港市立第二中学校
・テーマ 「わかる授業の実践」	・テーマ 「わかる授業の実践と 少人数指導について」
・対象 境港市内小中学校	・対象 境港市内小中学校
・講演 山口大学教育学部 栗原昭徳 教授	・HPを作成予定(平成16年度)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 ■15年度からの新規校 □14年度からの継続校
- 【学校規模】 □3学級以下 □4～6学級  
□7～9学級 □10～12学級  
■13～15学級 □16学級以上
- 【指導体制】 ■少人数指導 □T.Tによる指導  
■その他
- 【研究教科】 ■国語 ■社会 ■数学 ■理科  
■外国語 ■音楽 ■美術 ■技術・家庭  
■保健体育 □その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 ■有 □無